

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。 どんぐり河内

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	適切な利用定員が決まっている。園内外のスペースが利用定員に対して適切である。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	国の規定に沿った配置がなされている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	83%	17%	視覚的な支援も取り入れ、個々の特性に応じた配慮がなされている。障がいの特性に応じてきめ細かく支援している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	事業所の開所時に未就学児の利用が設定されていなかったため、手洗い場やトイレ等は未就学児が使いやすいように工夫している。基本的にはシンプルな空間に設定されており、特性に沿った落ち着いた環境にしている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	毎月の事業会議及び各事業所での伝達で行われている。支援員は全員参加している。目標に対してコミュニケーションをとりながら振り返りを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	毎年実施している。送迎時の保護者との会話や連絡帳のやり取りを通じて保護者の意向を把握し、業務改善につながるよう努めている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	法人のホームページにて公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	第三者による外部評価は行っていない。毎月、生活相談日を設定し、保護者に周知している。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	発達障がいへの理解、虐待防止、感染症予防、身体拘束など、年間計画を立てて研修会が実施されている。
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	子どもや保護者のニーズを聞き取りし、児童発達支援計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	法人および児童通所独自のツールを活用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な支援項目や支援内容が記載されている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	ご利用児の発達に応じて適切に行われている。

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	毎月担当者が立案を行い、周知している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83%	17%	ご利用児の発達段階に適した活動プログラムになるよう工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	ご利用児同士の関わりも大切にしながら、日課に個別活動と集団活動を取り入れ、児童発達支援計画に反映させている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	前日もしくは当日の朝に打ち合わせを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	振り返りを通して、気づきを共有し、支援に対する不安や疑問を抱いたままご利用児支援に取り組みないようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	記録は事実を正確に記載するように努め、検証・改善に活かしている。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	ご利用児の状況に応じて、相談支援事業所と連携しながら、モニタリングを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	行政の関係機関等と連携が図れている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			医療的ケア児の受け入れは行っていない。自立支援協議会の中で医療的ケア児の情報共有を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			医療的ケア児の受け入れは行っていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	自治体から委託を受けている巡回支援を活用し、情報共有や支援統一を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	自治体から委託を受けている巡回支援を通して、教育機関とつながっている。就学前の担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席し、情報交換、連携を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	法人内の児童発達支援センター主催の「北部圏域児童発達支援連絡協議会」の研修に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	83%	17%	地域の公民館で行われた行事に参加したものの、感染症対策のため、積極的な交流の機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	自立支援協議会子ども支援部会に児童発達支援管理責任者が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	日頃から送迎時に職員が状況や課題を話し、保護者と共通認識を持っている。「ふれあい通園」を活用し共通理解を図っている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	0%	ペアレントプログラムを実施し、保護者に参加を勧めている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	契約時に丁寧な説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	保護者に児童発達支援計画の内容を説明し、同意書に押印してもらっている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	定期的および保護者から要望があった際は、必要な助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	定期的にふれあい通園や懇談会を行い、保護者間の連携が図られている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	相談や申し入れについては早急かつ真摯に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	月一回発信している。定期的に法人の会報を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	個人情報の取り扱いについて細心の注意を図っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	口頭だけでなく、文書やメールを活用している。ご利用児と様々な伝達方法を用いて支援している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	83%	17%	感染症対策のため、行事に地域住民を招待していない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	毎月一回、訓練を実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	契約時やアセスメント時に把握し、対処している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83%	17%	現在、食物アレルギーのある児童の受入れはない。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	口頭と書面でヒヤリハットを共有している。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	職員研修の実施、虐待防止委員会での検証、防止に努めている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	身体拘束適正化委員会を定期的に開催し、検証、対応している。